

## レジメン名：TAS102 + BV 療法

【適応癌腫】 大腸癌

【1 コースの期間】 28 日 【最大コース数】 - コース

【催吐性リスク】 中度

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量 (補正単位)	速度指示	day (1)	day (2)	day (3)	day (4)	day (5)	day (6)	day (7)
Rp 01	点滴注射 30分かけて デカドロン注射液 3.3mg/1mL 生理食塩液 100mL	点滴静注 (速度入力なし) 6.6 mg 100 mL		+00:00						
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 全量: 100mLとして アバスチン点滴静注 生理食塩液 100mL	点滴[化療] 90分かけて 5 mg/kg 100 mL		+00:30						
注射										
Rp 03	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 朝・夕食後 day1-5, 8-12に内服 [院外]ロンサーフ配合錠 35mg/m <sup>2</sup> /回	※化学療法内服 70 mg/m <sup>2</sup>		+00:00 +12:00				+00:00 +12:00		
RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量 (補正単位)	速度指示	day (8)	day (9)	day (10)	day (11)	day (12)	day (13)	day (14)
Rp 03	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 朝・夕食後 day1-5, 8-12に内服 [院外]ロンサーフ配合錠 35mg/m <sup>2</sup> /回	※化学療法内服 70 mg/m <sup>2</sup>		+00:00 +12:00				+00:00 +12:00		
RpNo	薬剤名/手技/コメント	1 回投与量 (補正単位)	速度指示	day (15)						
Rp 01	点滴注射 30分かけて デカドロン注射液 3.3mg/1mL 生理食塩液 100mL	点滴静注 (速度入力なし) 6.6 mg 100 mL		+00:00						
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 全量: 100mLとして アバスチン点滴静注 生理食塩液 100mL	点滴[化療] 90分かけて 5 mg/kg 100 mL		+00:30						

### 【備考】

TAS102 の減量基準 ・好中球数 1000/mm<sup>3</sup>未満、もしくは血小板 50000/mm<sup>3</sup>未満で合併症の有る場合、または次コースの開始が 28 日以上遅れた場合。

・好中球数 500/mm<sup>3</sup>未満、もしくは血小板 25000/mm<sup>3</sup>未満の場合  
→10mg/day 単位で減量、ただし最低投与量は 30mg/day とする。

TAS102 の催吐性リスクは中度のため、必要に応じてドンペリドン、メトクロプラミドを考慮。

アバスチンの投与速度は 90 分→60 分→30 分と短縮可能